

2025 名古屋大学（前期）国語（医-看護・農）概評

出題分析			
試験時間	45分	配点	150点
		大問数	1題
分量（昨年比較）	[減少]	同程度	増加]
		難易度変化（昨年比較）	[易化] [同程度] 難化]
<p><b>【概評】</b></p> <p>例年通り現代文の評論1題構成。本文の量は、特に本文が長かった昨年から半ページほど減少した。接続詞の空欄補充問題が22年度以来3年ぶりに出題された。記述説明の解答数は1つ増加したが、解答総字数は320字で例年と同程度。本文は平易な文体で読みやすい。記述説明問題は必要な要素を捉えやすいが、一部の設問では制限字数内でまとめるのに工夫が必要であった。選択問題は、解答に迷った受験生もいただろう。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文（評論） きたやまおさむ『「むなしさ」の味わい方』	「むなしさ」を自分の外と内に起因するものの二種類に分け、その連動と言葉の「むなしさ」について述べた文章。記述問題は一部に字数内でまとめるのに苦勞する設問があった。漢字1問（解答数8）、空欄補充1問（解答数4）、内容説明3問（記述）、理由説明1問（記述）、内容合致1問の構成。	標準

合格のための学習法
<p>まとまった分量の文章を、対比構造や具体と抽象の関係などに注意しながら読む方法を身につけること。そして、「理由説明」「対比・共通の説明」「本文の要約」など様々な形式の記述問題演習を積みたい。また、漢字の読み書き練習は日頃から行っておきたい。接続詞や副詞などの空欄補充問題が出題される年もあるので、練習しておこう。</p>